

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務Ⅱ Travel Agency Work-Domestic Travel II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(国内旅行業務取扱管理者試験必修)	無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理 国内旅行実務Ⅰ 旅行関連法規 旅行業務総合演習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理 国内旅行実務Ⅰ 旅行関連法規 旅行業務総合演習				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
斎藤 清		本館2階	火曜日・水曜日・木曜日	授業中に指示します
授業の概要				
前半は、前期に学んだ国内旅行業務取扱管理者試験の学習の成果を、形のあるものとして残すために、12月に実施される「国内旅行地理検定試験」の合格に向けた学習を行う。後半は世界遺産を取り上げ、その歴史・文化的な価値の保護・継承と、観光資源としての活用のバランスについて考察していく。				
授業の目標				
①国内旅行地理検定試験の合格に向けた知識を修得できるようにする。 ②旅行地理検定試験の学習を通じ、楽しく効果的に観光資源についての知識を修得できるようにする。 ③世界遺産の意義とその保護・継承の重要性と、観光的な活用方法における取組と課題について修得できるようにする。				
授業の方法				
前半は、国内旅行地理検定試験の合格を目指し、毎時間過去問題の演習に取り組む。解答に際しては、解答を順番に発表させながら各自の理解度を高めるよう工夫する。後半は、世界遺産の意義とその価値について、日本の世界遺産と世界の代表的な世界遺産を中心に、」資料を配布・説明しながら授業を進めていく。				
学習の成果（学習成果）				
①国内旅行地理検定試験の合格に向けた知識を修得することができる。 ②旅行地理検定試験の学習を通じ、楽しく効果的に観光資源についての知識を修得することができる。 ③世界遺産の意義とその保護・継承の重要性と、観光的な活用方法における取組と課題について修得できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（講義の進め方）			
第2回目	国内旅行地理検定試験過去問題演習・解説①（第34回・第35回）			
第3回目	国内旅行地理検定試験過去問題演習・解説②（第36回・第37回）			
第4回目	国内旅行地理検定試験過去問題演習・解説③（第38回・第39回）			
第5回目	国内旅行地理検定試験過去問題演習・解説④（第40回・第41回）			
第6回目	国内旅行地理検定試験過去問題演習・解説⑤（第42回・第43回）			

第7回目	国内旅行地理検定試験過去問題演習・解説⑥（第44回・第45回）	
第8回目	国内旅行地理検定試験過去問題演習・解説⑦（第46回・第47回）	
第9回目	第48回国内旅行地理検定試験4級受験	
第10回目	世界遺産の基礎知識	
第11回目	日本の世界遺産①（知床・白神山地他）	
第12回目	日本の世界遺産②（小笠原諸島・富士山他）	
第13回目	日本の世界遺産③（姫路城・石見銀山遺跡他）	
第14回目	世界の世界遺産	
第15回目	全体のまとめ	
事前・事後学習	事前：授業Scheduleに合わせて、教科書の当該部分を一読してから授業に臨む事 事後：授業での不明点は、次回授業までに調べ理解しておく事	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。必要なことはノートに取り、積極的に質問する。また、履修上の留意点・ルールをしっかり守れていること。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	第48回国内旅行地理検定試験4級の受験結果、および世界遺産検定4級の過去問題取組み結果から評価する。 S評価の基準：S＝90-100
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
2018国内観光資源（JTB総合研究所）　世界遺産部分については、プリントで対応。		
履修上の留意点・ルール		
3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業途中で無断退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。		